

社会資本総合整備計画														事後評価書				
計画の名称	魅力と賑わいのある中心市街地の創出（第 期）																	
計画の期間	令和 0 4 年度 ～ 令和 0 7 年度 （4年間）														重点配分対象の該当		○	
交付対象	岡山市																	
計画の目標	岡山市が目指す賑わいのある中心市街地の創出に向けては、人が集い、憩える、魅力ある空間づくりを面的に展開することにより、まちなかの回遊性を向上させ、まち全体の賑わい創出につなげていくことが重要である。 このため、市民だけでなく来訪者も含めた多くの方々に、まちなかを楽しんでもらえるような魅力ある空間づくりを目指し、公共空間の再構築・バリアフリー化等による快適な歩行空間の確保や沿道事業者等との連携により、低未利用地や道路空間の利活用に向けた検討を行うなど、官民連携による都市再生（リノベーション）を進めるとともに、取組を広げていくための調査・検討を行う。																	
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）			377	A	377	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）			0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29		R7末
1	中心市街地の歩行者通行量の増加（平日）			
	表町・駅前・奉還町の各商店街を中心とした商業集積エリアの主要地点における歩行者通行量調査の全地点平均を算出する。（平日）	4324人／日	人／日	4400人／日
2	中心市街地の歩行者通行量の増加（休日）			
	表町・駅前・奉還町の各商店街を中心とした商業集積エリアの主要地点における歩行者通行量調査の全地点平均を算出する。（休日）	5654人／日	人／日	5700人／日
3	歴史・文化ゾーンの来訪者増加			
	岡山カルチャーゾーン連絡協議会加入施設への来訪者数を調査する。（既存施設の改修による休館等は考慮していない）* 当初現況値はR1年の数値	309万人／年	万人／年	328万人／年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	岡山市	直接	岡山市	-	-	都市再生整備計画事業（ 岡山都心地区）	A=382.5ha	岡山市	■	■	■	■		377		-	
												小計						377		
											合計						377			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岡山市において当該社会資本整備計画関係課により事後評価を実施	令和7年1月
	公表の方法
	岡山市HPに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	市道錦町古京町線（ハレまち通り）再整備後のR5時点における歩行者通行量が、再整備前のH30と比較すると、平日は約1.3倍、休日は約1.4倍増加し、中心市街地の活性化に繋がった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	市道錦町古京町線（ハレまち通り）において、車道を2車線から1車線にすることによる歩道拡幅や、連続照明やベンチの設置、街路樹の植替え等、安全で快適な歩行空間へ再整備はR3年度中に完了し、再整備を通じて設立された沿道事業者等のまちづくり組織が、拡幅された歩道をオープンカフェ等で活用するほか、沿道の低未利用地でマルシェを行うなど、当該路線の賑わい創出に繋がっている。

○特記事項（今後の方針等）

後続の社会資本総合整備計画内において予定している烏城公園（石山公園地区）内の再整備等により、魅力と賑わいを向上させ、歴史・文化ゾーンをはじめとした中心市街地への来訪者数向上に繋げたい。
また、再整備した道路空間の利活用向上を目的とした取組みも進めており、今後の歩行者通行量の増加に期待できる。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目 標 値	4400人 / 日	商店街個性創出事業や商店街サポートアイデア協働事業などの賑わいを創出するソフト事業と、基盤整備事業によるアーケード改修などのハード事業により、商店街の魅力向上・活性化に資する事業を推進したことが要因であると考えられる。* 最終実績値はR5年の数値
	最 終 実 績 値	6158人 / 日	
2	最 終 目 標 値	5700人 / 日	商店街個性創出事業や商店街サポートアイデア協働事業などの賑わいを創出するソフト事業と、基盤整備事業によるアーケード改修などのハード事業により、商店街の魅力向上・活性化に資する事業を推進したことが要因であると考えられる。* 最終実績値はR5年の数値
	最 終 実 績 値	7764人 / 日	
3	最 終 目 標 値	328万人 / 年	岡山カルチャーゾーン連絡協議会加入施設の内数である岡山城天守閣では、R1年度の入場者数は34万人であったが、R4年度に改修を行い、R5年度の入場者数は44万人と過去最高の入場者数を記録した。しかし、新型コロナウイルスの影響がまだ残っているなかで、歴史・文化ゾーンの来訪者数は感染症流行前の値まで回復しなかったと考えられる。* 最終実績値はR5年の数値
	最 終 実 績 値	295万人 / 年	